

白川さん 溶接技術で全国へ

東洋農機から14年ぶり3人目

道大会で「**持てる力発揮を**」
優良賞



全国大会の出場を果たした白川さん

東洋農機(本社帯広、山田政功社長)の白川英希さん(23)は帯広出身。このほど、札幌市で開かれた「第15回北海道地区溶接技術競技会」(日本溶接協会北海道地区支部委員会主催)の「半自動溶接の部」で優良賞に輝き、10月17-21日に福井県で開催される第54回全国技術大会の出場切符を得た。白川さんは「受賞は素直にうれしく思う」と喜んでいる。同社からは14年ぶり3人目の全国切符となる。

大会は「アーク溶接の部」を含め2部門が行われ、各部に21人が出場。白川さんの受賞した優良賞は、最優秀賞(1人)、優秀賞(2人)に続く栄誉。全国大会出場者は選抜方式で選出された。

競技では溶接された断面、曲げ方、外観の美しさなどを争った。白川さんは800満点のうち713点を獲得。780点台の最優秀賞者には及ばなかったが「一定の技術を発揮できた」と積み重ねてき

た経験を生かせることに満足している。上司の製造部生産課の尾野幸光課長も「若手だが技術はトップクラス。今後も勉強し成長を遂げてほしい」と喜び、期待している。

白川さんが高い志を持ち任事に取り組めるのは、道内8割のシェアを持つポテトハーベスターをはじめ、ニーズの高い農機製造に従事できるから。「全国大会でも持てる力を発揮したい。いつかは、溶接といえば白川と呼ばれるように腕を磨いていきたい」と力を込めた。(丸山一樹)